

2024年1月22日
株式会社竹中工務店

TNFD 開示提言に賛同し、「TNFD Adopter」に登録 ～ダボス会議にて「Early Adopter」として公表～

竹中工務店（社長：佐々木正人）は、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD：Taskforce on Nature-related Financial Disclosure）が、2023年9月に公表した開示提言を採用する「TNFD Adopter（※）」に、今後の情報開示を行う意思を表明し、登録しました。

このたび、2024年1月15日から開催された世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）において、早期採用者（Early Adopter）として公表されました。

※「TNFD Adopter」とは、TNFD 提言に沿った情報開示を行う意思を TNFD のウェブサイト上で登録した企業・組織を指し、2024年度分または2025年度分のいずれかにおいて、TNFD 提言に準拠した開示を行うことが求められるもの。



環境との調和をもとに、持続可能なまちづくりを推進する当社は、2009年に環境方針を制定し、2020年からは、生物多様性を重要課題（マテリアリティ）の一つとして特定しています。

生物多様性の保全・回復を目指す活動としては、2017年より「清和台の森づくり」の取り組みを進めています。これは兵庫県川西市清和台の丘陵地にある、敷地面積約8haの当社研修所内の森林・緑地の再生を通じて、森・人・技術を育て、持続可能な社会の実現に向けた社会課題解決につなげるものです。

また、千葉県印西市の当社技術研究所内に、お客様や社会の課題を多目的に解決するグリーンインフラと生物多様性保全・回復の研究開発フィールド「調の森 SHI-RABE®」を設けて、お客様や社会の課題解決に取り組んでいます。

今後も竹中グループ一体となって様々な取り組みを進め、TNFD フォーラムの情報開示フレームワークに従って、ステークホルダーに情報開示を行うとともに、企業価値向上に取り組んでいきます。